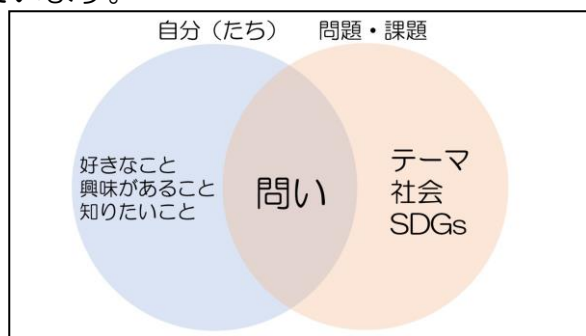


探究学習の職員研修を実施しました。

5月15日(月)に、探究学習の「問い」をテーマにした職員研修を本校視聴覚室で行いました。約30名の本校職員とオンライン配信にて県内11校15名の先生方が参加しました。社会の変化と探究学習の必要性や、具体的な問いの立て方を学びました。本校では、探究の時間は教員全員で生徒のサポートを行っており、職員研修で探究学習についての基本的な考え方を共有する機会をつくっています。



良い「問い」は「自分ごと化」から始まる



研修の様子

高校1年生 探究ベーシック

新たな教育課程では大学入学共通テストや一般入試でも、自ら考えて解答を導き出す探究型の問題も出題されることから、探究学習によって身につける資質・能力がますます重要視されつつあります。本校では、各教科と探究のつながりを考える機会をつくっています。そこで、高校1年生では、各教科でSDGsの学びを深めたり、探究スキルを伸ばしたりする単元を設定し、それを「探究ベーシック」と位置付けて学習しています。今年度の予定を次に紹介します。

教科	内容	関連するSDGs番号	実施日(期間)
国語	『見える文化』/『見えない文化』・「ありのままの世界は見えない」・「コインは円形か」という教材を通して、国や文化の違いによって物の見方や考え方が異なることを認識し、相互理解のために今何が必要かを考える。	4・5・10	9~10月
数学	・数学Ⅰ、A、Ⅱの応用問題において、協働して問題解決を図り、目標を達成するためのプロセスを経験する。 ・データの分析において、生活に必要な統計的な分析の基礎を学ぶ。	4・10	通年 データは12月
化学基礎	化学反応の量的関係と環境問題の考察 ①日本の天然ガス消費による二酸化炭素の排出量 ②二酸化炭素濃度の増加により炭酸カルシウムを骨格とする海の生物に与える影響"	13・14	9月
歴史総合	1学期は「近代化と私たち」のなかで前近代社会後期から、国民国家の成立、帝国主義の展開期を学習する。2学期は「国際秩序の変化や大衆化と私たち」のなかで、第一次世界大戦・第二次世界大戦をおして、「近代」から「現代」への転換期を学習する。3学期は「グローバル化と私たち」のなかで現代社会の諸問題について学習する。全体を通して諸課題の発生から展開を歴史的に考察し、SDGsに関連づけての学習をおこなう。	全て	4~5月, 9~11月, 3月
地理総合	1学期は地形の成り立ちを学習する中で、特に火山の分布と地震発生のメカニズムについて理解を深める。2学期は気候の学習を通して、特に洪水や台風、高潮など自然災害発生のメカニズムを知る。3学期は、1・2学期の学習内容を連動させながら、総合的に日本の災害と防災・減災の取り組みや地球環境問題について理解するとともに、その対策の困難さと解決に向けた糸口として、SDGsにみられるような国際的な取り組みが不可欠であることを認識する。	9・10・11・13・14・15・16・17	関係する箇所が随時出てくるため、期間を定めることができない
情報	1学期はSDGsの諸課題についてどのように問題を発見し、解決するか、プロセスを学習し創造力と協働性の成長をはかる。2学期では、発見した課題について自己表現できるよう、デジタルツールの使用方法を学習し、自ら学ぶ意欲を高める。3学期は、大規模データを使用したデータの分析や活用力を涵養し、客観的データの解析を通じて持続可能社会に貢献する姿勢を養う。	4・9	4月~3月
家庭	持続可能な食生活~エコクッキングを取り入れた献立作成と調理~ 1学期は、食生活分野の導入として、座学を中心とした学習の中で、食品ロス問題についても触れながら理解を深める。エコクッキングの視点から、献立作成をし、調理実習を通して日々の生活の中で実践的に取り組むことができるようにする。	2・3・12・13・14・15	6~9月
保健	感染症について(現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防)	3	4月
英語	FACTBOOK English Logic and Expression I Part 1 Unit 2: History and future of our town (地域社会・まちづくり・移住・地域活性化)	8・9・10・11	5~6月